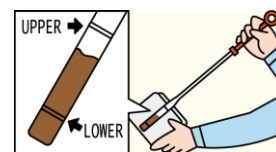


エンジンオイルの交換時期



■エンジンオイルの交換時期は、クルマの種類や使用状況によって異なります。

・一般的には通常の使用で、**1万5,000km または 1年毎**といわれていますが、エンジンや車種などによって異なりますので、車両の取扱説明書で確認しておきましょう。

・また、この距離・期間内であっても汚れや減りが激しい場合には交換する必要がありますが、極端な場合にはエンジンオイルの漏れも疑われますので、整備工場やディーラーで点検してもらう必要があります。

・特に、**軽自動車やターボ/スーパーチャージャーなど過給器付きのエンジンでは、高回転、高負荷になりやすいことからオイルの管理はより大切です。**

《エンジンオイル交換のめやす》

車種	交換のめやす	シビアコンディション※
ガソリン車	1万5,000km、または1年	7,500km、または6ヵ月
軽自動車（ガソリン車）	1万5,000km、または1年	7,500km、または6ヵ月
ガソリンターボ車	5,000km、または6ヵ月	2,500km、または3ヵ月
軽自動車（ターボ車）	5,000km、または6ヵ月	2,500km、または3ヵ月
ディーゼル/ ディーゼルトターボ車	1万km、または1年	6,000km、または6ヵ月

※シビアコンディション：悪路走行が多い、走行距離が多い、山道など上り下りの頻繁な走行など

■エンジンオイルの交換がなぜ必要かという点、主たる目的に「エンジンの潤滑」がありますが、オイルが各部を潤滑していくと金属間の摩擦などで高分子がせん断され潤滑性能が低下します。また、エンジン内部で燃料が燃えたときに発生する煤や、金属摩耗粉、また水分の混入などにより、オイル自体の性能が徐々に劣化するためです。

■**ディーゼル車の場合は、ディーゼルエンジン内部の環境がガソリンエンジンよりも厳しく、燃料に含まれる硫黄成分などからオイルも汚れやすい傾向にあり、ガソリンエンジンよりもマメな点検と早い時期での交換が必要です。**

■また、極少量ではありますが、走行しているうちに徐々に消費されてしまうため量も減っていきます。こうした状況を把握するために日常点検時は重要であり、定期的にエンジンオイルの汚れや量を確認し、必要であれば補充や交換を行うようにしましょう。

■**エンジンオイル交換時は、同時にオイルフィルターを交換することも必要です。**

・エンジンオイルに混入した不純物を取り除く役目を持つフィルターは、長期間使っているとオイル内の不純物を除去できなくなり、オイルの性能低下が早まるだけでなく、フィルター自体が詰まってしまいます。

・**オイルフィルターの交換の目安はオイル交換2回ごとに1回というのが基本です。**